

# 伊賀市の決算状況を報告します

## 《平成 28 年度の決算状況》

9月に行われた第5回伊賀市議会（定例会）で、平成28年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回は、その概要をお知らせします。

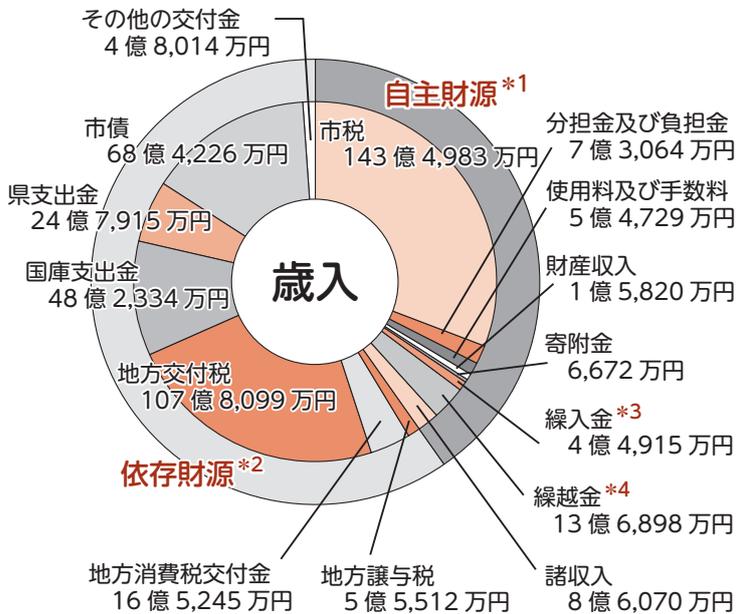
※表示単位未満を四捨五入しているため、決算書の金額（円単位）と一致していない場合があります。



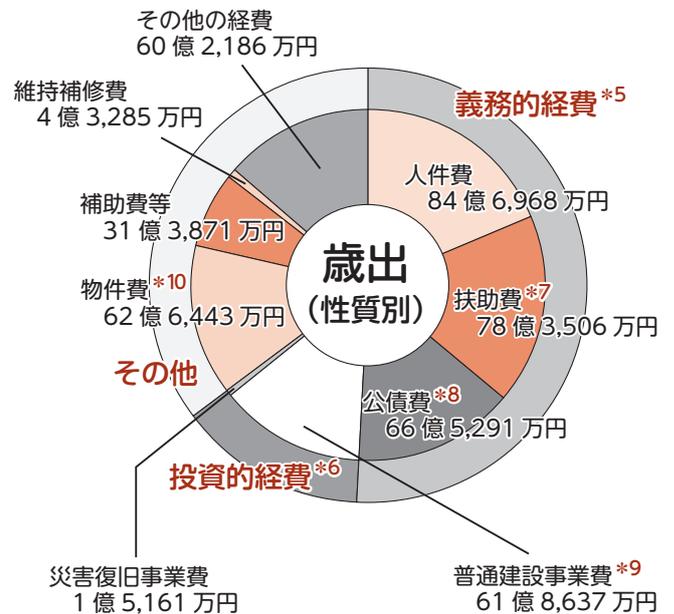
【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

## ■ 一般会計の決算状況

▼歳入：461億4,496万円

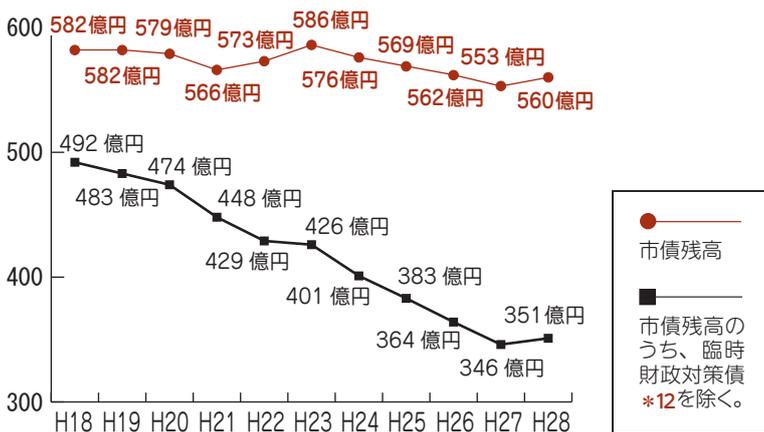


▼歳出：451億5,348万円



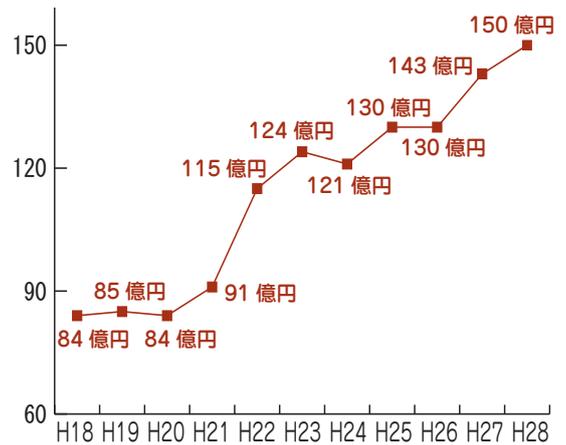
## ▼市債残高：560億円

市債\*11は、いわゆる市の借金です。  
市民1人あたりでは、約60万円です。



## ▼基金残高：150億円

基金は、いわゆる市の貯金です。  
市民1人あたりでは、約16万円です。



# 主な経費

**教育費 (6.9%)** 31 億 900 万円  
 ○ 学校管理経費 (小学校費) 3 億 2,802 万円  
 ○ 学校管理経費 (中学校費) 1 億 9,975 万円  
 ○ 小学校建設事業 8,368 万円

**災害復旧費 (0.3%)** 1 億 5,161 万円  
 ○ 公共土木施設災害復旧事業 6,508 万円  
 ○ 農林施設災害復旧事業 8,643 万円

**総務費 (20.5%)** 92 億 6,498 万円  
 ○ 地域振興経費 6 億 3,009 万円  
 ○ 文化施設維持管理経費 1 億 9,586 万円  
 ○ 地区市民センター等維持管理経費 4 億 4,426 万円



▲新消防庁舎

**消費費 (5.1%)** 22 億 8,552 万円  
 ○ 庁舎整備事業 7 億 4,566 万円  
 ○ 消防施設整備事業 4,352 万円  
 ○ 消防団本部管理経費 1 億 3,771 万円

**土木費 (6.5%)** 29 億 5,565 万円  
 ○ 社会資本整備交付金事業 4 億 6,834 万円  
 ○ 都市公園整備事業 2 億 3,454 万円  
 ○ 市街地整備推進事業 1 億 3,544 万円



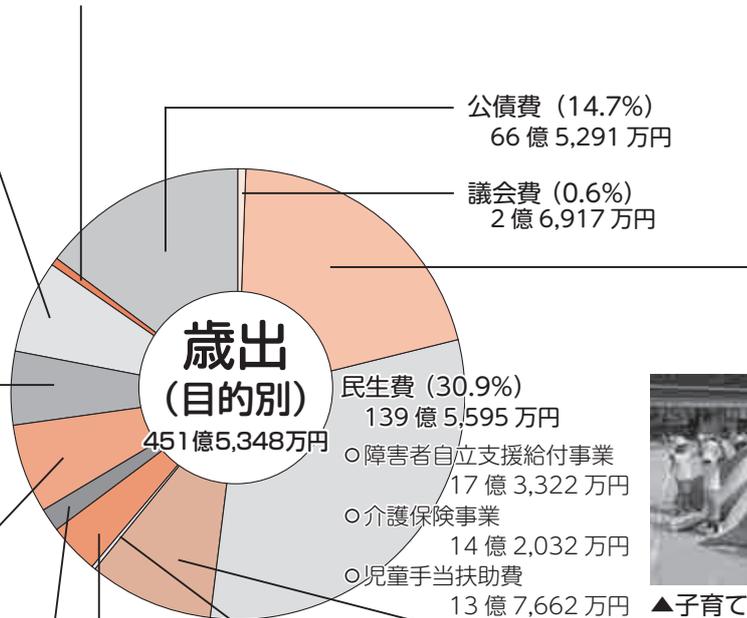
▲伊賀上野 NINJA フェスタ

**商工費 (1.6%)** 7 億 1,722 万円  
 ○ 企業立地促進経費 1 億 2,861 万円  
 ○ 商工業振興経費 3 億 3,955 万円  
 ○ 観光振興経費 1 億 1,318 万円

**農林業費 (3.7%)** 16 億 9,031 万円  
 ○ 多面的機能支払交付金事業 1 億 9,448 万円  
 ○ 畜産振興事務経費 599 万円  
 ○ 地域農政推進対策事業 2,035 万円

**衛生費 (8.9%)** 40 億 2,996 万円  
 ○ ごみ燃料化及び施設維持管理経費 8 億 6,521 万円  
 ○ ごみ収集経費 3 億 9,276 万円  
 ○ し尿処理及び施設維持管理経費 2 億 9,142 万円

**労働費 (0.2%)** 7,121 万円  
 ○ 雇用、勤労者対策事業 5,313 万円  
 ○ シルバー人材センター運営等経費 1,299 万円



▲子育て支援事業

## 財政のことは

- \*1 自主財源：地方公共団体が自主的に収入できる財源
- \*2 依存財源：国や県からの交付金など
- \*3 繰入金 (⇔繰出金)：一般会計と特別会計、特別会計同士など、一方の会計の収支不足を補てんするために他方の会計から充当されるお金
- \*4 繰越金：決算の結果、前年から繰り越しとなったお金
- \*5 義務的経費：人件費・扶助費・公債費など、支出が法令で義務付けられている経費
- \*6 投資的経費：道路・公園・学校・公営住宅の建設などの社会資本の整備に必要な経費
- \*7 扶助費：児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などに対して、市が行う支援に必要な経費
- \*8 公債費：市債の元金と利子の返済金
- \*9 普通建設事業費：道路・施設などを造ったり、施設を増築したりする経費
- \*10 物件費：人件費・扶助費・補助費等・普通建設事業費などを除く経費の総称
- \*11 市債：主に道路や建設事業などのための借金  
 ※公共施設は、現在の市民だけでなく、将来にわたって多くの世代で利用するもののため、一度に税金でまかなうよりも、市債を借りて長期にわたって返済することで、世代間の公平性を図るという考えに基づいています。
- \*12 臨時財政対策債：地方交付税の交付原資の不足に伴って、地方交付税に代わる地方一般財源として発行可能となった特例的な地方債

## 市有財産の状況

区 分		土 地	建 物	主な施設
行政財産	公用財産	115,875㎡	30,304㎡	庁舎・消防施設など
	公共用財産	3,800,246㎡	464,523㎡	学校・図書館・公営住宅・公園など
普通財産		2,837,659㎡	23,858㎡	上記以外（山林など）
合 計		6,753,780㎡	518,685㎡	—

## ■特別会計の決算状況

市には、国民健康保険事業など9つの特別会計と、2つの財産区特別会計があります。  
特別会計全体の基金残高は約28億円で12億円の減、市債残高は約4,000万円で170億円の減です。

会計名	収入額	支出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	112億3,358万円	113億2,811万円	▲9,454万円	9億2,272万円	1,033万円
住宅新築資金等貸付	2,282万円	1億805万円	▲8,523万円	11万円	2,637万円
駐車場事業	3,833万円	3,810万円	23万円	—	—
介護保険事業	104億4,339万円	99億1,418万円	5億2,921万円	2億9,287万円	—
農業集落排水事業	13億8,137万円	13億1,516万円	6,621万円	11億9,415万円	—
公共下水道事業	9億4,230万円	8億1,190万円	1億3,041万円	—	—
浄化槽事業	2,385万円	2,154万円	231万円	—	—
サービスエリア	1,277万円	1,227万円	50万円	5,228万円	—
後期高齢者医療	11億2,620万円	10億7,639万円	4,981万円	—	—
島ヶ原財産区	3,048万円	2,794万円	254万円	2億735万円	—
大山田財産区	1,799万円	1,553万円	246万円	8,339万円	—
合 計	252億7,308万円	246億6,917万円	6億390万円	27億5,287万円	3,670万円

## ■財政の早期健全化・再生に関する指標 (財政健全化法に基づく指標)

平成20年に施行された法律によって、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものとして、健全化判断比率を公表することが義務付けられています。

伊賀市の今年度の数値は、昨年度よりも改善しており、すべての指標で早期健全化基準・財政再生基準を

下回り、健全団体となっています。しかし、県内の市町と比べて高い数値となっており、より改善する必要があります。

※伊賀市の場合、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は不足額がないため、「該当なし」と表記しています。

※速報値

	実質赤字比率*1	連結実質赤字比率*2	実質公債費比率*3	将来負担比率*4	資金不足比率*5	
					病院事業	水道事業
伊賀市 (平成28年度数値)	該当なし	該当なし	12.5 (13.2)	85.3 (90.8)	該当なし	該当なし
早期健全化基準	11.9	16.9	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0	
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	—	—	

\*1 実質赤字比率：普通会計（行政サービスを行う一般会計など）の歳出に対する歳入の不足額（赤字額）が標準財政規模\*6に占める割合

\*2 連結実質赤字比率：すべての会計の赤字額と黒字額を合わせて計算した赤字額が標準財政規模に占める割合

\*3 実質公債費比率：標準財政規模に占める公債費（借

金返済額）の割合の3カ年平均値

\*4 将来負担比率：市が将来負担すべき負債による財政圧迫の割合

\*5 資金不足比率：公営企業ごとの営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合

\*6 標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模

## 水道事業

### ■事業概要

平成 28 年度の主な事業として、伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、佐那具町・西之澤・上神戸地内では新規給水エリアの拡大事業を、上野丸之内・上野赤坂町・小田町・別府地内などでは配水管更新事業に取り組んだほか、ゆめが丘浄水場の送水ポンプ設備改良工事などにより施設機器の更新を図り、安定して水道用水を供給できる環境を整備しました。

今後も安心安全で良質な水道用水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

### ■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	35 億 6,178 万円	36 億 1,023 万円	—	増減額	4,845 万円
事業費用	32 億 5,817 万円	31 億 7,384 万円	—	不用額	8,433 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	4 億 9,540 万円	4 億 9,329 万円	—	増減額	▲ 211 万円
支出	16 億 4,195 万円	16 億 1,780 万円	—	不用額	2,415 万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎24-0001 FAX24-0006

## 病院事業

### ■事業概要

市民病院は三重県西部の基幹病院として、全人的医療を提供し、広く市民に信頼される病院であることを基本理念とし、その役割を担ってきましたが、全国的な医師看護師不足が続くなか大変厳しい経営状況が続いています。こうした状況ですが、地域の中核病院としての使命達成と住民の健康保持を図るため、職員が丸となって改革に取り組んでいます。

平成 28 年度は、本館屋上の防水工事及び本館 5 階の病棟内改修工事等を実施し病院機能を改良したほか、ベッドサイドモニタ・骨密度測定装置・ジェットウォッシャー超音波洗浄装置などの医療機器の購入整備を行い、医療の質を高めるよう努めました。

### ■給水状況

	平成 28 年度	平成 27 年度からの増減
現在給水戸数（戸）	39,577	216
現在給水人口（人）	92,821	▲ 883
年間総配水量 A（m <sup>3</sup> ）	14,370,211	45,841
年間総有収水量 B（m <sup>3</sup> ）	11,717,733	166,169
有収率 B/A（%）	81.5	0.9

■市債残高 152 億 269 万円

今後もより一層の経営効率化を進めるとともに、地域の皆さんから信頼される公立医療機関として、役割を果たすべく努力していきます。

### ■利用状況

	平成 28 年度	1 日平均
外来患者数（人）	69,390	286
入院患者数（人）	69,876	191

※外来患者の 1 日平均人数は、患者数を年間診療日数である 243 日で割っています。

■市債残高 14 億 3,396 万円



### ■病院事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	46 億 1,723 万円	43 億 6,365 万円	—	増減額	▲ 2 億 5,358 万円
事業費用	46 億 700 万円	45 億 963 万円	—	不用額	9,737 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	2 億 1,896 万円	2 億 1,896 万円	—	増減額	0 円
支出	3 億 8,744 万円	3 億 8,732 万円	—	不用額	12 万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎24-1111 FAX24-1565